

## 製品安全データシート (SDS)

### 製造者および販売者情報

製造元 株式会社パークス環境  
〒152-0004  
東京都目黒区鷹番 3-14-13-302  
TEL. 03-5794-3933  
FAX. 03-5794-3934

### 製品名： ダストテクト

No	化学品名	CAS No.	添加量
1	珪酸化合物	非公開	1-3%
2	弱溶剤	64742-48-9	80-92%
3	フッ素・シラン化合物	非公開	3-5%

危険性：Xn

R フレーズ：R65

※ R10：可燃性

R65：飲んだ場合、肺に害を及ぼす可能性がある

#### 4. 【危険性並びに毒性】

危険性：アルミ、錫、亜鉛等の金属を腐食する。

有害性：長期的・継続的に皮膚に接触した場合、皮膚炎を起す事がある。

微粒子やミストを呼吸すると鼻、のど、気管支、肺を刺激し、肺炎を引き起こす可能性がある。誤って飲み込んだときには口膣、のど、食道を刺激するおそれがある。

(注)隣接個所の換気は施工個所と同様に行うこと。

#### 5. 【応急処置】

吸入した時：換気が十分に行われていない場所で使用された場合、疲労、むかつき、めまいなどを引き起こす可能性がある。

いずれかの症状が出た場合には空気の新鮮な場所へ移し、暖かくして休ませること。その間、何も飲食しないこと。

もし呼吸が停止し、不整になったときは、酸素吸入し、医者に指示を仰ぐこと。

皮膚に付着した時：着衣を脱ぎ、付着個所を石鹼水で十分に洗浄すること。付着した衣服や靴も洗い流す。※その際溶剤やシンナーを一切使用しないこと。

目に入った時：15分以上冷水で洗い流し、即医師に手当てを受ける。

コンタクトレンズははずすこと。

飲み込んだ時：大量の水/牛乳を飲んで薄め、直ちに医者に相談すること。

体を休め、無理に吐き出そうとしたりしないこと。口の中に入った場合、飲み込まずに口に水を含みす

すいだあと吐き出すこと。

(注) 体の不調が続く時は、医者に相談すること。

## 6. 【火災時の措置】

消火剤：粉末または泡沫タイプの炭酸ガスの消火剤を使用し、水を使用しないこと。

火災による危険性：引火性。高熱で燃焼した場合は、炭素、酸化物を発生する。

防護用具：防護用マスクを使用すること。

## 7. 【災害予防措置】

作業員について：保護用具を着け、目に入らないようにすること。

環境保護策：施工に際しての汚れは水で洗い流してもよいが、残材をそのまま下水道または川に流さないこと。

施工後の措置： 施工後の機材は、廃棄処分用の容器に入れること。

使用器具に付着したダストテクト は拭くかこすり落とすか、それでも落ちない場合は揮発油で拭きとる。

## 8. 【取り扱い並びに保管】

取り扱い：静電気による火花に注意すること。

発火の恐れのあるものは遠ざけておくこと。

施工現場では禁煙を厳守すること。

スプレーによる使用の際は、必ず防護マスクを着用し、その飛沫を吸い込まないように注意すること。

食物に付着させないように注意すること。

施工中ならびに塗膜硬化中の場所で飲食しないこと。

ぜんそくや皮膚が敏感な人は作業に従事しないこと。

換気の不十分な場所での施工には防護マスクを着用すること。

第8項に従い防護処置をとること。

保管： 容器は常に蓋を硬く閉じて縦向きに保管し、使用中にのみ開缶すること。なるべく元の容器のまままで保管すること。

## 9. 【施工上の安全管理】

スプレーによる施工には作業員並びに参観者も保護マスクを着用すること。

手：ビニール、ネオプレンなどの浸透性のない作業用手袋を着用すること。

眼球：飛沫が目に入らないように防護メガネを着用すること。

皮膚：綿、または化繊のツナギを着用すること。作業着を脱ぎ、皮膚に付着したものを石鹼水により十分に水洗いすること。

## 10. 【物理的、化学的特性、化学的安定性】

外観： 液体/透明色

臭気： パラフィンのような微かな臭い

蒸気圧（気温 20℃時）：1200Pa 以上

引火点：80℃

沸点：150-200℃

着火点：240℃

比重：600-750 kg/m<sup>3</sup>

通常の保管状態下では安定している。※第7項【取り扱い並びに保管】を参照のこと。

化学分解した場合には、炭素、炭化水素を発生する。

#### 11. 【有害性】

吸入： 換気が十分に行われていない場所で使用された場合、疲労、むかつき、めまいなどを引き起こす可能性がある。いずれかの症状が出た場合には空気の新鮮な場所へ移し、暖かくして休ませること。その間、何も飲食しないこと。

皮膚： 皮膚が敏感な人は炎症を起こすことがある。

眼球： 炎症を起こすことがある。

飲み込んだ時： 大量の水を飲んで薄めること。

#### 12. 【環境への生態学的影響】

地下水に影響を与えるような廃棄をしないこと。

弱溶剤：現在の収集データでは川、海に誤って大量に流し込んだ時のみ、水中生物に被害を加える。

簡単に生物分解：自然な微生物によって比較的早く生物分解します。

水生毒性：LC50 魚、藻、ダフニア>100mg/L

分解性：簡単に生物分解します（28日試験：68%減少；BOD）。

大気では光化学作用の分解性がします。

#### 13. 【残材の処理】

川や下水に放棄せず、産業廃棄物処理規定に従って容器共に処理すること。

#### 14. 【輸送上の制限規定】

ADRに指定されている危険運搬物には該当しない。

国内:国際輸送時の表示 化学品 HAZCHEM

#### 15. 【当該製品にかかわる制限規定】

EEC 危険性物質分類：Xn/F

R10： 可燃性

R36/37： 目、呼吸器官、皮膚の炎症を起こす危険性があります。

R65： 誤飲した場合、肺に害を及ぼす場合があります

R66： 皮膚が乾燥し、裂傷が生じる恐れがあります。

S2： 子供の手の届かないところに置くこと。

S7： 缶の蓋はきちんと閉じておくこと。

S16： 火気注意。禁煙。

S23： スプレーによるしぶき、蒸発気を吸入しないように注意すること。

S24/25： 皮膚に直接かからないように注意すること。

S29： 材料そのものを下水に放棄しないこと。

S37： 手袋を着用すること。

- \*水生生物に有害
- \*軽度の皮膚刺激性



最近GHS表示が義務付けられています。GHS表示を怠ったり、偽り表示がされたりする傾向があります。弊社では必ずGHS表示及び明確な表示をしています。

#### GHSとは

世界的に統一されたルールに従って、化学品を危険有害性の種類と程度により分類し、その情報が一目でわかるよう、ラベルで表示したり、安全データシートを提供したりするシステムのことです。